

2021年度 新人介護福祉士年間教育計画

		目標	具体的内容・方法	新人院内集合研修	院内・院外研修
4月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院の概要を知る</li> <li>・病棟の環境に慣れる</li> <li>・病棟での役割・業務を理解することができる</li> <li>・社会人としての自覚を持ち、必要なマナーを身につけることができる</li> <li>・病棟の一日の流れを知る</li> <li>・指導を受けながら介護技術を実践することができる</li> <li>・報告・連絡・相談を理解することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人オリエンテーション</li> <li>・病棟オリエンテーション</li> <li>・指導者の早出・日勤業務を見学、共に行動し一日の流れを理解する</li> <li>・指導者の介護技術を見学し、手順や基本的事項、留意点を理解する</li> <li>・指導者とともにケアに必要な患者の情報収集を行いその必要性や方法、報告・連絡・相談を理解する</li> <li>・指導者とともに安全・安楽な基本的介護技術を実践する</li> <li>・指導者とともに病棟内の物品等の場所、管理方法を知る</li> </ul>	(4/1~4/5) 新入職員オリエンテーション (4/6~4/8) 新人看護職員オリエンテーション 看護部教育体制 看護部の基本理念・基本方針 倫理綱領 接遇 看護記録 看護業務規程 物品管理 eラーニング 電子カルテ操作 安全管理 身体抑制 感染管理 看護技術(ポジショニング・移乗・移送) (4/28) 新入職員AED研修	<病棟勉強会> ・主な疾患の基礎知識、および介助における注意点
5月	指導者とともに業務を行い基本的技術を習得する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者とともに早出・日勤業務を実践することができる</li> <li>・介護士間・看護職員間で報告・連絡・相談をすることができる</li> <li>・患者とコミュニケーションを図ることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアに必要な情報集を主体的に実践する</li> <li>・指導者とともに、または見守りのもと基本的介護技術、業務を実践する</li> <li>・指導者とともに優先順位を考慮して援助を行う</li> <li>・ADL・IADLの状態に応じた介入方法・禁忌の把握の重要性を理解する</li> <li>・ケア後の確認を行う</li> <li>・報告・連絡・相談をできるように指導者は声掛けを行う</li> </ul>	(5/ ) 他部署見学：リハビリ (5/26) 新人研修：KYT①	<病棟勉強会> ・移乗・移動および車イス・ストレッチャーの使用法
6月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者とともに入浴業務を実践することができる</li> <li>・多職種への報告・連絡・相談の重要性を理解することができる</li> <li>・自分の行う業務が患者にもたらす影響を理解することができる</li> <li>・3か月の振り返りを行い、現状を客観視することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴業務に必要な情報や介助、安全に実施することの重要性を理解する</li> <li>・指導者とともに感染防止策を実践し、その必要性や方法を理解する</li> <li>・意思表示ができるよう声掛けを行う</li> <li>・患者に直接関わらない業務も、最終的には患者やともに働くスタッフに繋がっていることを理解できるように指導者は一つひとつの業務の意味を説明する</li> <li>・現状で自分のできていること・できていないことを明確にする</li> </ul>	(6/2) 歩行介助 (6/30) リフレッシュ研修	<病棟勉強会> ・離床介助(朝・昼・夕食前)の優先順位シミュレーション ・レクリエーションについて
7月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人で早出・日勤(入浴)業務を実践できる</li> <li>・患者の異変に気づき報告することができる</li> <li>・業務の優先順位が分かる</li> <li>・勤務時間内で終えることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人で早出業務・日勤業務(入浴)を行う</li> <li>・業務引継ぎ等の伝達不足とならないよう、先輩スタッフから小まめにコミュニケーションを図る</li> </ul>	(7/ ) 他部署見学：通所リハビリ	<病棟勉強会> ・認知症について(認知症の基礎知識、パーソンセンタードケア)
8月	9月までにすべての業務をひとり立ちする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運出業務の流れを知り、指導を受けながら運出業務を行うことができる</li> <li>・夜勤業務の流れを知り、指導を受けながら夜勤業務を行うことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者とペアで夜勤業務を行う</li> <li>指導者との夜勤は、2回行う</li> <li>1回目：シャドーイング(指導者主体で、できるところは行う)</li> <li>2回目：新人主体(指導者は評価)</li> <li>2回目の状況を評価し、3回目を行うか、ひとり立ちにするか検討</li> </ul>	(8/4) 新人研修：KYT② (8/25) 多重課題	<病棟勉強会> ・緊急時の対応(急変、転倒転落) ・災害時の対応
9月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜勤業務を自立して行うことができる</li> <li>・6か月の振り返りを行い、自己の課題を見つけることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立して夜勤業務を行う</li> <li>・自己の目標について達成状況を確認し、達成に向けての課題を抽出、計画を立案する</li> </ul>	(9/22) 6ヵ月フォローアップ研修	<病棟勉強会> ・ナースコール対応シミュレーション(安全を考慮した優先順位の判断)
10月		自己を振り返り課題を見つけることができる		(10/13) 褥瘡予防の基礎知識	<病棟勉強会> ・認知症について(ユマニチュード)
11月		自己を振り返り課題を見つけることができる		(11/24) 入室時の対応	・事例検討(テーマ： )
12月	決められた手順に従い、必要に応じて助言を受けながら基本的な介護・技術を実践する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9ヶ月の振り返りを行い、自己の課題を見つけることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の目標について達成状況を確認し、達成に向けての課題を抽出、計画を立案する</li> </ul>	(12/8) 新人研修：KYT③ (12/22) 9ヵ月フォローアップ研修	<病棟勉強会> ・回復期リハビリ病棟における看護・介護の役割
1月		自己を振り返り課題を見つけることができる			・事例検討(テーマ： )
2月		自己を振り返り課題を見つけることができる			<病棟勉強会> ・インシデント分析(転倒・転落)
3月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年を振り返り、目標の達成状況を評価し次年度の自己目標を立てることができる</li> <li>・ラダーⅠ申請</li> </ul>	次年度に向けて課題を整理し目標・具体的計画を立案する	(3/23) 12ヵ月フォローアップ研修	・事例検討(テーマ： )
2年目		自主性をもって取り組むことができる	詳細は別紙あり	2年目研修(メンバーシップ) (ケーススタディ)	
3年目		新人職員への指導主体性をもって取り組むことができる ラダーⅡ申請	詳細は別紙あり	3年目研修(退院支援) *チューター研修(アサーティブコミュニケーション)	認知症実践者研修(福岡市主催)